

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



「まだまだ備えは不十分。」

高瀬 勉が問う

実践的な防災と危機管理を

車中泊する避難者への対応を、地域防災計画に明記する考えは。

総務課長 現行の計画は、屋内建物での避難生活を想定したものとなっています。避難所が分散し過ぎると避難者への支援が困難となる事態も考えられるので、今後は、避難所となる学校体育館に隣接するグラウンド等を駐車スペースとして活用できるか研究していきます。

災害後対処訓練だけでなく、「災害予防訓練」の重要性を感じたが。

総務課長 水害や土砂災害は、災害が発生する前の対応が重要であるとの観点から、避難誘導訓練などを検討していきたいと考えます。

超高密度気象観測システム「POT EKA（ポテカ）」の導入を図る自治体が増えているが。

総務課長 現在は、気象庁や熊谷地方気象台が発表するデータ・情報と、国土交通省の河川防犯情報や町内3カ所の雨量計データ等を活用し対応しています。ポテカの導入については、システムの詳細や費用負担等を考慮し、研究していきます。

「命の笛」の購入推進と補助を。

総務課長 重要性は理解していますが、現在購入や補助は考えていません。



命の笛。その音は、陸上では800メートル、水中でも15メートル先まで聞こえます。



「女性の目線を生かし、新しい気づきを。」

田中照子が問う

町活性化に女性の活躍を

女性の行政区参加への啓発が図られているが、女性区長の誕生は。

総務課長 現在76行政区中、女性は1人です。区長は、各行政区の自主的な運営に基づき推薦されます。今後、男女共同参画社会の観点からも、女性行政区役員の参加啓発を図ります。

女性の活躍には子育て支援の充実は不可欠である。町の問題点、その解決に向けた取り組みは。

子育て支援課長 当町でも、産後早いうちから働く女性が増え、0・1・2歳児の保育需要が高まっています。こういった中、小川保育園では4月から受け入れ枠10人の定員増に向け、乳児棟の新築工事が行なわれており、国・町で補助金を交付しました。

歴史的建造物の活用を

町や個人所有の歴史的建造物を登録有形文化財とする方向性は。また、生涯学習課長 当町には既に多くの文化財がありますが、蔵や町屋の町並みも本町の特徴です。歴史的建造物は文化財保護の観点から、その価値等を検証し登録を進める必要があると考えます。個人登録への財政的な支援は考えていませんが、助言等を行いたいと考えています。



乳児が口に触れても安心・安全な木材使用。園児も参加した上棟式。(小川保育園)



「福祉用具の貸し出しを軽介護者から奪わないで。」

笠原 武が問う

有料化で軽介護者への影響は

4～8月の要支援1から要介護2までの福祉用具貸与利用者は延べ1322人で、利用用具個数は延べ3727個である。これが有料になったときの影響は。

長生き支援課長 福祉用具の利用は自立と介護負担の軽減、運動機能の保持や転倒防止などの介護状態の重度化防止にも効果があります。費用負担が困難な方が福祉用具の利用をやめた場合、介護負担の増加と介護状態の重度化が考えられます。

観光事業への取り組みは

テレビ等で取り上げられたヘメロカリスを栽培されている方や、バラの会などの方の力を借りて、まちおこしの観光事業につなげていくつもりはないか。

にぎわい創出課長 個別に対応しながら、積極的に支援していきたいです。

パトリアおがわの設備改善を

プールの西日よけ・浴場の壁のカビ取り・脱衣所床の直し・ぬれた水着の絞り機(脱水機)の取り付けなどをすべきだと思いが。

健康福祉課長 西日よけ・水着絞り機の取り付けは、財源がありません。壁のカビ取りと脱衣所の床直しは対応しました。



入浴・温水プールなど、憩いの場でもあるパトリアおがわ。

解説 命の笛2 群集・騒音・爆発音などの中でも、人が一番聞き取りやすいと言われる周波数3150ヘルツに合わせて調律されている。また、どんな気候・天候でも同じように機能が発揮できる。

解説 ポテカ1 さまざまな場所に設置可能な小型の気象計で、それらを結ぶネットワークで構成される。ピンポイントかつリアルタイムで気象情報や変化を得られる。



「はじめてホームページから会議録を読みました。たくさんの意見があつてスゴイ。」



「いつも『議員さん』として見られてるって、大変ですね。」

Mini Column オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう『議会のイメージ・期待することは』